

Ⅱ. 事業の概要

1 当該年度の事業の概要

○法人の管理運営

1. 私立学校法等改正に対応した学園の運営体制の点検及び充実を図りました。
2. 「経営改善計画」の着実な実施による財政基盤の安定を図るとともに、「経営改善計画」が最終年度を迎えるため、「第2次経営改善計画」の策定に取り組みました
3. 「学園創立100周年記念事業」を推進し、「睦学園ランドデザイン2030」の策定に取り組みました。

○兵庫大学・兵庫大学短期大学部

1. 事業方針

「Vision2024（第3次中期計画）」（計画期間：令和2（2020）年度～令和6（2024）年度）に基づき、今年度の事業計画を策定しました。

2. 事業計画

- (1) 建学の精神の浸透と実践を行うため、次の取り組みを行いました。
 - ① 共通教育科目のシラバスについて、「建学の精神」に関する記述を記載
 - ② 教育改革推進会議において建学の精神の浸透と実践についての課題精査
- (2) 建学の精神に基づく人材の育成のため、次の取り組みを行いました。
 - ① 学生の希望に沿った質の高い出口保証
 - ② 教育課程の再構築と「ありがたいのプロフェッショナル」の育成
- (3) 教育の質保証改革の推進のため、次の事業を行いました。
 - ① 教学アセスメントの実効化
 - ② 時代のニーズに応じた学部等の改組・編成
 - ③ 教育・学生支援環境の整備・充実
 - ④ グローバル化・ダイバーシティの推進
- (4) 研究水準及び研究成果の向上のため、次の事業を行いました。
 - ① 研究生産性の向上
 - ② 地域ニーズ対応型研究の推進
 - ③ 「知」の集積拠点としての研究基盤の形成
- (5) 高大接続の強化を行いました。
 - ① 附属校とのSDGsを盛り込んだ探究学習の教育連携強化
 - ② KISの国際人教育（グローバル人材育成）の教育連携の検討・企画
 - ③ 連携協定校への探究学習支援を活用した入学者選抜の検討

- (6) ブランド力の強化のため、次の事業を行いました。
 - ① 入学定員の充足
 - ② USR（大学の社会的責任）活動による信頼の確保
 - ③ SDGs の推進
 - ④ ステークホルダーとの信頼関係の醸成
- (7) 地域社会との連携強化取組みを行いました。
 - ① 社会的ニーズに対応したリカレント教育の提供
 - ② 地域プラットフォーム事業実施に向けた体制構築
 - ③ PBL 型授業の推進と評価方法の確立等
- (8) 経営・ガバナンスの強化に取り組みました。
 - ① 時代の変化に柔軟に対応した組織体制の構築
 - ② 認証評価受審に向けた自己点検評価書の作成
 - ③ 寄付金事業の施策展開

○兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校

- 1. 高大接続事業を活用した「確かな学力」を育てる教育の実践を行うために、次の事業に取り組みました。
 - (1)生徒一人ひとりの学びや経験を個々の進路実現、キャリアにつなぐ教育
 - (2)社会や時代の要請にこたえ自分らしく未来を切り拓く女性の育成
 - (3)兵庫大学・短期大学部との高大連携強化
 - (4)生徒指導…自律（自己指導）能力の育成
 - (5)宗教を通しての情操教育の充実
 - (6)国際的視野の育成
- 2. 生徒募集活動の強化（受験者数・入学者数の目標達成にむけて）のため、次の取組みを行いました。
 - (1)募集目標：専願者 200 名 入学者 300 名 受験者 700 名 生徒数 900 名
 - (2)教職員の意識改革（生徒募集活動の重要性の再認識）
 - (3)志願者数回復（増加）に向けた生徒募集戦略の展開
 - (4)生徒募集結果の分析と検討
 - (5)オープンキャンパス等の特色化
 - (6)オープンキャンパス・学校説明会における兵庫大学との連携強化
 - (7)中学校・塾への募集活動に対応できる若手教員、女性教員の育成
 - (8)卒業生ネットワーク活用によるファミリー優遇制度の確立
 - (9)ネット出願導入体制確立にむけての準備

3. 多様化する教育内容に対応する教育の質向上への取組みを行いました。
 - (1)保護者及び生徒対象のアンケートの実施とアンケート結果を踏まえた改善サイクルの再構築
 - (2)オンライン等を活用した教員の教育力向上の為の校内研修の充実と校外研修への積極的な参加促進
 - (3)公開研究授業開催による教員相互の指導・助言、勉強会の活性化
 - (4)新任教員研修の実施及び中堅教員対象リーダー養成研修の内容の充実
 - (5)教員のタブレット利用による業務の効率化の推進と生徒と向き合う時間及びオンライン上での場を確保
 - (6)端末利用による休校等で出校できない生徒のオンラインによる授業等の学習環境の整備及び代替講座視聴及び到達度テストによる理解確認の促進
 - (7)文部科学省が提唱するハイブリッドな手法を感染拡大の状況を踏まえ、最適な組み合わせによる対応策の運用

4. 組織的学校の経営の構築に努めました。
 - (1)保護者・外部機関等との連携協力と「危機管理マニュアル」の周知徹底による生徒の安全確保
 - (2)入学該当年齢人口の推移や入学志願者数の動向等の調査・分析による募集定員規模のあり方の検討
 - (3)各部長・統括・コース長のリーダーシップによる組織の活性化
 - (4)中堅教員の主要ポストへの登用と幹部候補教職員の育成
 - (5)ハラスメント防止の為の教職員の意識の醸成と定着化
 - (6)生徒募集、教育内容、進路指導が有機的に連鎖した組織運営の構築
 - (7)2023年度以降の修繕、施設・設備等の投資計画の検討

○神戸国際中学校・高等学校

- 1 教職員一人一人が資質・能力の向上を目指すために、次の取組みを行いました。
 - (1)効果的な校内教職員研修会の実施並びに定期的な教科会議を開催し教科内の情報共有や授業研究を実践
 - (2)積極的に校外研修会へ参加し、新学習指導要領に対応した授業・評価の在り方や新たな教科指導方法を習得
 - (3)毎学期の管理職や教員相互の授業見学、生徒・保護者アンケート等を活用し、授業力・指導力の向上

- 2 全教職員が一丸となって諸課題に取り組み、信頼される学校づくりを進めました。
 - (1)生徒・保護者の満足度を向上させる教育活動を工夫・改善し実践
 - (2)教職員一人一人が当事者意識や危機感を持ち、諸課題を克服する方策を提案

- (3)報告・連絡・相談の徹底及び情報の共有化を図り、協働体制の確立
 - (4)教育相談体制を充実させると共に、教職員の生徒理解に基づく生徒指導力の向上
- 3 大学受験に対応できる学力を育み、生徒の進路実現を図るため、次の取組みを行いました。
- (1)中高一貫・少人数制の利点を最大限に活かすと共に、教員一人一人が教科指導力向上や授業の工夫・改善・充実に努め、基礎学力の定着と応用力を育成
 - (2)各教科、新学習指導要領に対応した授業や評価の確立及び生徒の現状に即した6年間の教科指導計画並びに各学年目標を作成
 - (3)コンサルテーションシステムの更なる活用や丁寧な質問対応・個別指導
 - (4)対話型・双方向型授業及びICT機器を駆使した授業を推進し、学力の三要素の効率的な習得
 - (5)トワイライト・レクチャーや長期休業中の補習をより効果的にするための工夫・改善
 - (6)進路ガイダンスを計画的・効果的に実施し、早期の目標設定
 - (7)6年間の進路指導計画にコンサルテーションシステムを取り入れ、より充実した指導計画を作成
- 4 21世紀のグローバル社会で活躍できる語学力を育成するため、次の取組みを行いました。
- (1)英語の4技能の習得とCEFR-B1・B2レベルの資格取得及び積極的に校外のスピーチコンテストへの出場
 - (2)コロナ禍における語学研修（海外・国内）を工夫・検討すると共に、日本の伝統文化の理解とオンラインを活用した国際交流
 - (3)コロナ禍における海外留学や海外留学生の受け入れの在り方を工夫
- 5 人間力を育む教育活動を実践するため、次の取組みを行いました。
- (1)生徒会（委員会）活動の活性化を図ると共に、自主性・協調性・創造力を養う学校行事・体験活動を工夫
 - (2)思考力・判断力・表現力を養う課題探究の深化・充実
 - (3)「感謝」「寛容」「互譲」の心を全ての教育活動を通して育むと共に、道徳・人権教育の充実
- 6 本校の教育実践を分かりやすく、効果的に伝える生徒募集活動を次のとおり行いました。
- (1)全教職員の共通理解、協力体制のもと各種生徒募集活動を実施
 - ◇ コロナ禍における本校実施の生徒募集イベントを創意・工夫し、本校の教育実

- 践の魅力や特色を効果的に伝え、出願者数の増加を図る。
- ◇ 他校の説明会等の情報を収集し、本校の説明会等のより効果的な実施日程を設定する
- (2) 県内の主要な学習塾や中学校との信頼関係の更なる構築
- ◇ 学習塾・中学校訪問の担当者を決め、計画的・効果的に実施し、更に信頼関係を深め、本校を積極的に推薦してもらえる関係を確立する。
 - ◇ 県内の主要な学習塾教室において、本校の説明会を実施させてもらえる教室を増やす。
 - ◇ 中小の個人学習塾を新規に開拓する。
- (3) ポスター、チラシなどの紙媒体の広報を工夫・改善すると共に、HPをはじめSNSを活用した効果的なPRの在り方の検討
- (4) 中学・高校入試の日程や内容等を工夫・改善
- (5) ナイト説明会をより効果的なものにするために実施方法等の工夫

○兵庫大学附属須磨幼稚園

1. 募集戦略・広報活動の強化策として、次の取組みを行いました。
 - (1) イマージョンクラス（英語中心のクラス）
 - (2) さくらんぼ学級の人数を増員
 - (3) ひよこ学級の充実
 - (4) 特養ホームとの交流
 - (5) 地域行事に参加
 - (6) 学校評議員会との連携
 - (7) 地域への発信
 - (8) ファミリーガーデンの地域開放の実現
 - (9) 子育て支援として教育相談の充実（保護者の支援）

2. 体験学習の充実・近隣幼稚園との違いを明確化のため、次の取組みを行いました。
 - (1) 高校の充実した施設を活用しての行事活動の情報発信を工夫
 - (2) ファミリーガーデン（第2園舎）の整備と活用年間計画の実施
 - (3) えんじョイルームを活用したのびのび体験
 - (4) 幼小連携として西須磨小学校他関係校との交流
 - (5) 私立須磨浦小との交流

3. 大学附属幼稚園としての特色づくりを行いました。
 - (1) 大学と連携して、個別教育計画（IEP）の実践と研究
 - (2) 教育実習生の受け入れ
 - (3) 教育内容の充実

(4)指導力を高めるための研修の充実

○兵庫大学附属加古川幼稚園

1. より質の高い保育の提供を目指す取り組みは、次の通りです。
 - (1) 教職員の指導力の向上
 - ・教職員の資質・指導力向上を図る研修の実施
 - ・大学と連携した幼児教育等に関する研究及び実践の充実
 - ・日常的なケース研究を取り入れ、保護者対応のスキルアップ
 - (2) 教育内容の拡充
 - ・新しい遊具等を活用した運動遊びの充実
 - ・自然環境を生かした体験活動の充実
 - ・心身の発達を促す健康安全教育、食育の充実
 - (3) 教育環境の整備
 - ・新型コロナウイルス感染拡大に左右されない保育環境の整備
 - ・ネット環境を整え、保護者の利便性向上と教職員の働き方改革の推進
 - ・保護者会との連携を深めるとともに、関連する事業内容の充実

2. 地域に愛される取り組み
 - (1) 地域に開かれた幼稚園
 - ・「校区ユニット」との連携を図り、幼小接続を推進
 - ・近隣小・中学校、および地域活動との交流に積極的に参加
 - (2) 子育て支援の充実
 - ・地域の子育て支援の充実（よちよち・どんぐり・ひよこクラブ、さくらんぼ学級）
 - ・預かり保育、親子学級の内容充実
 - ・魅力ある課外クラブの計画的な運営